

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 70

1986年

5 - 6月号

行事案内

賀沼探鳥会とカウント

月日 5月4日(日) 雨天中止
集合 我孫子市役所 午前9時
案内 カモたちが去って沼は寂しくなりましたが、オオヨシキリがアソ原を賑やかにしています。森にはサシバが帰ってきています。北への旅鳥、ムナグロ、ツルシギ、ウズラシギその他を水田地帯で探がします。

正午頃終了ですが、午後はきっと有志による探鳥会があるはずです。

担当 坂巻、畑、飯泉、小池、西城

特別行事

アオバズクの鳴声調査

では、バード・ウィークに因んで、市内のアオバズク分布調査を次により行ないます。

皆様のご協力と、ご支援をお願いします。

鳴き声調査

ご承知のとおり、アオバズクは、4月下旬～5月初旬東南アジア方面から渡来し、10月下旬頃には渡去する夏鳥です。昼間は木のうろ、葉の茂みなどにじっとして、見つけにくい鳥ですが、夜行性で、5月～7月頃の午後7時～午前5時ごろまでは、「ホーホー

ー・ホーホー」と2声つつ区切ってよく鳴き、声による確認は容易です。

そこで、皆様のご自宅から1軒ほどのところで、鳴くような環境(神社・寺院・屋敷林・その他で大木のある)がありましたなら、晩酌を早目にきりあげて、一寸と夜の散歩を試みて頂き、その声をおききになったら、お手数ながら、その旨、お知らせ下さるよう、お願いいたします。

記

調査期間 5月10日～16日(この期間以後でも結構です。)

報告事項 住所と氏名。声をきいた場所とその日時

報告手段 葉書、または電話で

報告先 我孫子市白山2-13-13
(TEL)82-2268 坂巻忠雄

またわ 我孫子市高野山161-9
(TEL)82-2783 高橋敏夫

鳴き声調査と声をきく会

月日 5月11日(日) 雨天中止
集合 午後7時 我孫子市役所

車お持ちの方は車でご参加下さい。

調査班 数班に分れて、市内をパトロールし鳴き声の確認をしていただきます。

(所要時間約2時間以内)

鳴き声をきく班、徒歩片道1軒ほどのところでアオバズクの声をききます。

(所要時間約1時間)

小見川探鳥会

月 日 5月25日(日) 雨天中止
集 合 我孫子中央公民館(手賀沼公園東)
午前8時

交 通 自家用車または、それに便乗。
便乗の方は、交通費1,500円負担願
います。

便乗予約申込先 中尾照平
(TEL)88-4006

持 物 昼食。

担 当 坂巻、中尾、高橋

案 内 珍鳥オオセッカの生息地を訪ねます。
昨年は、多数の方々に参加していただき
ましたが、台風6号の接近のため、
最悪の探鳥会となり、残念でした。

今回も、貴重なこの鳥の保護と生息
地の環境保全に努力している。私達の
仲間日本野鳥の会との交流探鳥会です。

オオセッカ、コジュリン、コヨシキ
リ、ヨシゴイなどとの出会いがたのし
めます。

備 考 参加希望者多数で、便乗できないと
きは、我孫子発8時16分成田行電車
を利用し、成田発9時2分銚子行にて
小見川着9時48分をご利用下さい。

八ヶ岳高原探鳥ツアー

月 日 6月7日~8日(土、日)雨天決行
集 合 我孫子中央公民館(手賀沼公園東)
7日午前8時

交 通 貸切マイクロバス利用

宿 泊 (財)キープ協会清泉寮
山梨県北巨摩郡高根町清里3545
TEL 0551-48-2111

参加費 15,000円(宿泊・交通費)
出発時にいただきます。

持物等 防寒具(朝夕は冷えます)、雨具

懐中電灯、7日の昼食。

担 当 坂巻、中尾、飯泉。

予約申込先 TEL(88)4006 / 中尾照平
定員 20名、満員になり次第締切
らせて頂きます。

案 内 飯泉さんの折紙つきの、キープ清里
サンクチュアリに、初夏の鳥たちの姿
や声を求めます。

ここには、3つのトレイル(溪谷・
林道・草原)があり、どれも、所要時
間は2時間ほどで、それぞれの環境に
応じた鳥たちがたのしめます。

ハイタカとノスリはこの代表的猛
禽でよくでるとあります。

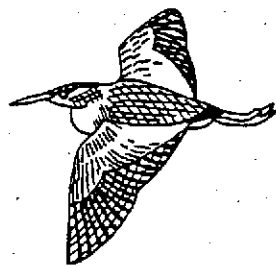
鳥よし、花よし、空気よしの最高の
季節を満喫したいものです。

手賀沼探鳥会とカウント

月 日 6月15日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
(終了 正午頃)

担 当 畑、小池、飯泉

案 内 ヨシゴイ、コアジサシ、オオヨシキ
リと夏鳥の季節です。
そっとサンバの森ものぞいてみます。



◎ 行事報告

○ 酒沼雑感

2月15・16日

新横浜から90分で我孫子に着いてしまった。10年近いプランクの参加であるし、気恥かしい思いを抱きながらの出発である。探鳥日和とは言えない空模様である。北関東へ向かう車窓の冬景色は灰色の雑木林で、私の我孫子での郷愁をそそる。悲しいほど静かである。かって成田街道を走行しながら、この冬枯れの景色は私の心とよく同化した。同乗の家内にも何度も話した。冬の雑木林はきれいだ。好きだと。横浜へ来てからは鎌倉をよく歩いている。やはり冬枯れの雑木林だ。その時は生活排水の満ちた流れの中で、ヤマシギが餌を取っていた。ヤマシギがずい分湿しく見えた。私の気持が萎えていたからだろう。私を恨むように見据えて彼は真上に2メートルほど飛び上がり、深い溝を軽快にクリアして竹の林に消えた。

バスの車内には懐しい人達の柔和な顔がある。文明に背を向けたくも向けられない現実がそこにあるため気持が乾いてしまうのだろうか。百年前、アメリカの作家ソーローは「森の生活」を著した。アメリカではこのテープを聞きながら通勤する人が急増していると云われている。今、何故、脚光を浴びているのだろうか。自から丸太小屋を建て、畑を耕作し、ランプで読書をし、そして無数の自然への接点を彼は充足したのである。この時代には変人奇人で扱かわられたらしい。私には羨ましい。見事としか言いようがないのである。ウォールデンの池ほどの魅力はなくても、酒沼とていけるぞと思いを馳せていた。宿泊する「いこいの村酒沼」の対岸に立ちながら沼面を観察する。後方の田畑に小さな龍巻きが出るほど風は強い。私のおめあてはカイツ

ブリとワシタカ類なので舌気に構えている。

沼の周辺と大洗の海岸をバスは行き来したようであるが、この天候では明日に託そうとということで宿に入った。

さて、これからがスバランカッタのであります。お値段にしては立派な施設でありまして、お風呂からの眺望も、すこぶるよろしいのである。何しろ、風呂から鳥が観れるなぞということはこの48年にして初体験なのであります。ステスケの全面ガラスにわが湿しき体をくっつけて、人足踏しからぬ男が、せつなくも怪しい目つきで、ジイと前方に目をこらしているのであります。ビックしたのは粹なカクガリのオニイサン、カムリカイツブリでありましょう。首をスックンと何回も立て、チラッと小生を見て、イゲネエ、悪いもの見ちゃったとこれまた何回も潜ってオノレの身体を清めているではありませんか。

その首筋は色白でとつてもナマメカシク玉三郎のようでありました。カレはその晩、喰い合わせが悪く下痢に泣いたことでしょう。

さて、この晩のことも記憶に止めておきましょう。男子熟年パワーの爆発であります。女性が同席していたかも定かではありません。大量のアルコールを前に飲むわ飲むわ、酒豪坂巻会長のご発声の連発により談論風発、会員の木村さん、若手の西城さんの苦心のスライドを肴に飲み続けたのであります。さて翌日、会社の忘年会なら経験ズミではあります。酒沼の二日酔も初体験でありました。風は強くとも日本晴、と……小生の三脚は首の上下がままならぬではありませんか、20年来の友もここへきてシラバックレタのであります。ご自分ばかりにそそぎこむからと冷い声をイブカシク聞きながら、四苦八苦、とうとうバスのオイルを頂戴してことなきを得たのです。まさ、とにかく熟年の皆様方、糖尿病と脳卒中に家族のため、ご自分のため、いやいやこの会が盛会であるために御自愛のほどを。

記 吉田 昇

<認めた鳥> ガイツブリ、ハジロカイツブリ、ミミカイツブリ、カンムリカイツブリ、ウミウ、ヒメウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、マガン、マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、クロガモ、シノリガモ、ミコアイサ、カワアイサ、トビ、コジュケイ、オオバン、ジロチドリ、タゲリ、ミユビシギ、タシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、シロカモメ、ウミネコ、キジバト、ヒバリ、セグロセキレイ、ビンズイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、イソヒヨドリ、アカハラ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カモSP、ワシタカSP、シギSP、カモメSP、ウミスズメSP、計67種、番外ドバト

<参加者> 飯泉 仁・久美子、木村 稔、中尾照平・米子、三神鶴吉・淑子、深谷幸枝、村井 治・登代、西城 猛、庄崎富佐子、川端英雄、中 弘、島崎純造、吉武勝平、赤尾 完、小野勝義、柴田五郎、吉田 昇、坂巻忠雄、高橋敏夫、以上22名。

○3月9日の手賀沼探鳥会

に参加して

私達は、夏の一番暑い時と、冬が一番寒い時をのぞいて、週末には、よく遊歩道に出掛ける。それぞれの時で、それぞれに美しい。

私達は、長いこと家を空けていて、自分の家に帰ってきた。私はどこでも暮せると思っているが、やはり本当の自分の家で暮らせることに安らぎを感じる。

庭に作ったエサ台に鳥がきて、パン屑を食べたり、水をのんだり、さえづったり、なか

なかいものだ。

遊歩道に出掛けても、何げなく鳥など見ていたが、こうして皆さんと一緒に鳥を見るようになって、私達の散歩も、もう少し楽しく豊かなものになるでしょう。

それはたしか初冬の暖かい日でした。

その日は娘と二人で、遊歩道へサイクリングに行きました。釣堀が二つあって、先の方のつり堀のところで、娘がキングフィッシャーと小さく叫びました。とっさに私も見ました。美しいカワセミでした。いつか又、見たいと思います。

これから暖かくなるので、探鳥会には、出来るだけ、参加したいと思っています。

我孫子市若松164-10

国 安 テル子

○五本松公園巣箱かけ

一木登りおじさん登場一

(3月9日)

庄 崎 富佐子

午前の探鳥会に引き続いて、午後は湖畔高台の五本松公園での巣箱かけを楽しんだ。

一昨年、香取神社での巣箱作りに参加して鳥の大きさによって巣箱の入口の穴の大きさを加減したり、水抜き穴をあけたり、巣箱のふたをあけて中の掃除が出来るようにしたり、いろいろ初めてのことを知った。

今回は、それをどうやって木にかけるかということの初体験だった。

坂巻さんが車から危かしい金具の折りたたみのはしごを取り出し、針金やベンチや釘や金槌の入った道具箱、肝心の巣箱等々をかまえて、皆でワイワイガヤガヤめぼしい木を捜して歩く。

私の本日の発見の第一は、巣箱はしっかりゆわえておかないと、人の頭の上に落ちてきたらたいへんだということ。(こういう基本的なことを私は知りませんでした。)

これは、私達の巣箱のかけ方がいい加減だ

ということでは全くなくて、ミカン箱のように大きなアオバズクの巣箱をかける時、高橋さんがそのようなことを云われ、私がいதாக突感、感動したというわけ。

というわけでアオバズクの巣箱は公園のはずれの大きな榎の木の又にしっかり高々とかけられた。

発見の第二は木登りのうまい人がいるということ。これには驚いた。はしごでモタモタ上るのではなく、木の幹をよくわからないのだけれど両手両足で駆け登ってしまう。背広をボンと脱ぎすて靴をはいたまま、スルスルスル、作業をする時は片足を枝にかけ、只者ではない。そのX氏云わく「年に1、2度、松(?)の枝打ちをやってたからね。」

それにしても、おかげで私は浮かれ歩いてしまった。

<参加者> 坂巻忠雄、高橋敏夫、赤尾完、梅沢幸雄、庄崎富佐子、飯泉 仁・久美子、深谷幸枝、金井 豊、坂巻陽介、木幡静子、中尾照平・米子、関根さち子・修・聡、木原葉子、以上17名

○手賀沼カウント

調査日時 6.1. 3. 9(晴)

9:30~12:00

<カウント班> 坂巻忠雄、庄崎富佐子、飯泉 仁・久美子、小池 忠、赤尾 完、中尾照平・米子、高橋敏夫、村上 弘、以上10名

<探鳥班> 中 弘、赤田靖英・康和、深谷幸枝、関根幸子・聡・修、木幡静子、国安輝久・テル子、吉池良一・みち、檜垣英行、古川幸三、山崎誠一・香代、首藤佑吉・美恵子、青柳素子、木原葉子、片桐金治郎・治子、寺田義雄、小山 駿、五十嵐 享、梅澤年雄、藤津幸江、

以上27名 計37名

鳥 種	上 沼	下 沼	計
カイツブリ	13	16	29
ゴイサギ	—	23	23
ダイサギ	—	2	2
コサギ	—	4	4
アオサギ	14	2	16
マガモ	—	129	129
カルガモ	90	108	198
コガモ	47	107	154
ヨシガモ	—	3	3
オカヨシガモ	—	13	13
オナガガモ	3	53	56
ハンビロガモ	15	472	487
ホシハジロ	—	2	2
ミコアイサ	—	3	3
バン	4	—	4
オオバン	36	41	77
タシギ	1	—	1
ユリカモメ	7	43	50
計 18種	230	1,021	1,251

<他に認めた鳥> キジ、キジバト・ヒバリ、ハクセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハンボソガラス、

計21種 合計39種



鳥だより

- 8 6. 2. 1 8 [白山]ウグイス初鳴
 2. 2 2 [白山]アオジ初鳴
 坂巻忠雄
 2. 2 2 [菅生沼]オオヒシクイ
 (7)飯泉仁・久美子
 2. 2 3 [船戸1丁目]キクイタダ
 キ(2) 高橋敏夫
 2. 2 5 [中峠]ヤマガラ
 中尾照平
 2. 2 6 [高野山]キクイタダキ
 高橋
 8 6. 3. 2 [湖北台よしきり橋]
 コミミズク 中 弘
 3. 3 [柏、東葛高枝]ヒレンジ
 ャク(32) 浅間 茂
 3. 8 [同所] 同(7) "
 3. 1 0 [柏市旭町]ヒレンジャク
 (6)飯泉久美子、深谷幸枝
 3. 8 [中峠下根古屋]
 チョウゲンボウ 島崎純造
 3. 1 6 [古利根]ベニマンコ(2)
 浅間 茂
 3. 3 0 [白山]ムクドリ巢材運び
 坂巻忠雄
 8 6. 4. 3 [白山]ツバメ "
 " " [高野山] " 高橋
 4. 6 [湖北台] " 中尾

- 8 6. 4. 6 [フィッシングセンター]
 イソシギ(4) 中尾
 4. 8 [沼南泉]サシバ(1)
 ヨシガモ3 2:22
 [湖北台よしきり橋]
 ホオアカ 以上 中尾照平

参考

オオコノハズクが高野山の山階鳥類研究所で、3月6日と18日に確認され、同一個体と書いてあります。(高橋)

ご 寄 付

一金 6,836円 大洗探鳥会御一同様
 屑米 20kg 泉 福田睦夫様
 本(清水公園座生沼の四季) 1冊
 野田野鳥同好会 様
 ご芳志厚く御礼申し上げます。

◎ 会費納入のお願い

4月より新年度となりました。昭和61年度分の会費の納入を、よろしく願いたします。
 会計担当幹事 中尾照平

後記 いつもでも寒さがつづいたせいか、ウグイスの声もろくにきかないうちに、桜が咲いてしまいました。満開の花の中に2羽のシメがいました。花見には、相変らずのきつい顔でした。
 T生

我孫子野鳥を守る会会報第70号

発行人 坂巻忠雄 TEL(0471)82-2268
 住所 我孫子市白山2-13-13
 振替 東京 4-51628
 我孫子市湖北台7-1-401 中尾方
 我孫子野鳥を守る会 坂巻忠雄
 会費 年額 1,500円(中学生以下500円)